

学校だより

小川中学校

No. 15

平成27年 9月24日

文責：校長 佐藤正則

東北大会、銀賞受賞

全日本吹奏楽コンクール東北大会中学校小編成の部が、13日（日）に山形市にあるやまぎんホールで行われ、本校吹奏楽部は、銀賞を受賞しました。

本校初の東北大会出場、しかも地元といわきアリオス以外で演奏するのは初めてということもあり、演奏前から極度に緊張していました。しかし、ステージ上ではそんな不安や恐怖に負けず、これまでの練習の成果を一杯表現しようと、集中度を高めて素晴らしい演奏を響かせました。演奏後は、みんなやりきったというすがすがしい表情でした。

結果は、金賞には一歩及びみませんでした、



ここまでよく頑張ってきました。お疲れ様！

山形市には前日に移動し、かみのやま温泉の旅館に泊まりました。この旅館は、皇室御用達の格式ある旅館で、今上天皇も2度宿泊したそうです。それもあってか、旅館で部屋を借りて練習したのですが、それが、テレビなんかで見る「鹿鳴館」のような雰囲気のできるホールで、なかなか良い感じでした。現部員で宿泊するのも初めてと、初めて尽くしの経験は、とても良い勉強になったと思います。

最後になりましたが、前日から多くの保護者の皆さんが同行され、当日も多くの皆さんが会場に応援に駆けつけて



くださり、本当にありがとうございました。

ありがとうございました！

1年生は17日に、小川町のシンボル「二つ箭山」登山を計画していました。夏に学年教師全員で下見登山をし、コースを確認、当日は学年保護者の方々にも同行いただくなど、事故を防ぐ方策を立てて準備してきました。

しかし、最近の長雨で地盤が緩み、事故が起きやすくなっているのではないかと不安を感じていたところ、保護者の方からも「危険が大きいのではないか」というお葉書をいただき、迷わずに登山の中止を決定しました。実際、当日も雨で、「やはり中止して良かった。」と思っています。

今回のご指摘、お名前が分かりませんので紙面をもってお礼いたします、ありがとうございました。



後期生徒会役員選挙

11日（金）に演説会と投票を行いました。

演説会では、候補者たちは、異口同音に「無遅刻連続記録更新」「あいさつのさらなる充実」「夏井祭の成功」などを力強く訴えました。

今回は1、2年の会計のみが選挙で、残りはずべて無投票当選ですが、候補者は全員がやる気と実績のある生徒ばかりでした。

後期もとても期待できる執行部になると思います。



衣替えの準備をお願いします！

次世代のリーダー育成を目指すいわき市中学校生徒会長サミットで、9月5日から1週間、韓国訪問を行い、本校から2人の生徒が参加しました。とても良い勉強をしてきたようです。以下は感想です。

韓国の中学校を訪問して

2年 佐藤灯彩

僕は今回の派遣で特に印象に残ったことがあります。それは鉢山（パルサン）中学校訪問です。この学校は校舎5階建て、生徒数、千人を超える大きな学校です。

この学校では韓国の中学生とペアになって行動することになっていたので、文化や言葉の違いに不安がありました。

でも、英語で話したり相手が日本語をしゃべれたので、早く打ち解けることができました。親交タイムが終わると、僕はペアの韓国人ペクさんと一緒に英語の授業を受けました。内容は日韓の食文化についてでした。

授業では、ペアで両国の料理について発表しました。急に英語での発表は大変でしたが、二人でうまくやることができました。

最後に僕たち日本の生徒が、いわきや日本、東日本大震災について韓国語で発表しました。



これに対し韓国の生徒は、中学生とは思えないリアリティー

のある劇を披露してくれました。言葉は通じませんでしたがとても感動しました。これで学校訪問は終わりです。

ペアだったペクさんとは連絡先を交換するまで仲良くなりました。

僕は今回訪問するまで、韓国にあまり良いイメージを持っていませんでした。しかし、この学校訪問で韓国のよさを感じ、韓国人がどれだけ日本人のことを好んでくれているか分かりました。

今回感じたことをできるだけ多くの人に知ってもらい、隣国韓国に興味を持ってもらえればと思っています。

韓国派遣で印象に残ったこと

3年 佐藤真衣

私は韓国派遣事業に参加して、たくさんの良い経験をする事ができました。その中でも心に残ったことが2つあります。

1つ目は、韓国の中学校を訪問したことです。

そこでは韓国の中学生と一人ひとりがペアになり活動しました。勿論韓国の生徒が使う言葉は母国語の韓国語です。ですが、それでは私たちには通じません。逆に私たちが日本語で話しかけてみても相手に伝わりません。

そこで世界共通語である英語を使ったり、ジェスチャーを使ったりしました。



「言葉」という大きな壁がありながらも、それを乗り越え仲良くなる事ができました。

2つ目は、北朝鮮との国境が見える展望台に行ったことです。

朝鮮戦争の時に使用したというトンネルに行く事ができました。普通だったら見ることができないような場所に行け、本当に勉強になりました。

そこに行くには全員が身分証明をしなければなりません。戦闘服を着た軍人さんがバスの中に入ってきて、人数とパスポートをチェックしました。その光景を見て、本当に厳しい場所に来たんだと実感しました。そこでは韓国と朝鮮との歴史をたくさん学びました。

韓国派遣を通して私は、コミュニケーション能力を高める事ができたと思います。

初対面で会った44人のサミットメンバーや韓国の中学生とたくさん交流する事ができたからです。この経験を今後の生活によりよく生かしていきたいと思っています。

この二人は、今回の体験を夏井祭でも発表しますので、ご期待ください。

9月17、18日は全学年とも総合的な学習活動の全日体験活動でした。

1年生は「小川を知る」、2年生は市の経済教育施設エリムでの学習、3年生は職場体験でした。どの学年も事故なく、目的を達する事ができました。内容は、次号でお伝えしますが、多くの保護者の皆さんにもご協力いただきました。有難うございました。

連続無遅刻日数 9月24日現在

123日